

いつ起きてもおかしくない地震に備える

問合せ／防災危機管理課 内線2321

最大震度7を記録した東日本大震災から6年が経過し、また、平成28年熊本地震から間もなく1年が過ぎようとしています。「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉にもあるとおり、近い将来、関東でも大きな地震が起きる可能性が指摘されています。もう一度、災害に対する備えや防災について、確認しておきましょう。

まず自分の身の安全を確保することが重要

地震が発生したときは、まず自分の身の安全を確保することが重要です。そのため、災害の発生を日頃からイメージするとともに家庭でも話し合い、いざというときのために備えをしておきましょう。

💡 わが家の点検

次の点を参考にして、家の中を点検してみましょう。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 家具・テレビは固定していますか？ | <input type="checkbox"/> 照明器具は強固に取り付けていますか？ |
| <input type="checkbox"/> 家具の上に重い物などは置いていませんか？ | <input type="checkbox"/> 感震ブレーカーを取り付けていますか？ |
| <input type="checkbox"/> ストープは耐震消火装置付きのものですか？ | <input type="checkbox"/> カーテンは防災加工のものですか？ |
| <input type="checkbox"/> 窓ガラスには、飛散防止フィルムを貼っていますか？ | |

💡 非常持ち出し品の準備

避難するときに、常備薬や下着など、とっさに必要なものを持ち出せるよう非常持ち出し袋を目につくところに備えておくことが大切です。



避難準備情報の名称が変更となりました

自力避難が困難な人も、短時間で適切な避難行動をとることができるよう、避難準備情報の名称が変更されました。

| | | |
|--------|---|---------------|
| 避難準備情報 | → | 避難準備・高齢者等避難開始 |
| 避難勧告 | → | 避難勧告 |
| 避難指示 | → | 避難指示(緊急) |

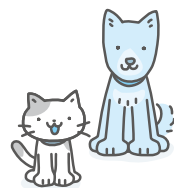
「**避難準備・高齢者等避難開始**」が発令されたら、高齢の人や障がいのある人、小さな子どもがいる人など、避難に時間を要する人と、その避難を支援する人は、避難を開始してください。

災害が発生したら、必ずペットといっしょに避難を

災害時にペットといっしょに避難しないと、再会が困難になったり、住民の安全や公衆衛生上の環境が悪化することも懸念されます。動物愛護の観点のみならず、放浪動物による人への危害防止や生活環境保全の観点からもいっしょに避難することは大切な行動です。

💡 避難所ではペットに関するルールがあります

避難者とともに避難した動物(盲導犬、聴導犬、介助犬を除く)の居室への持ち込みは原則禁止です。避難所の屋外や敷地外に設置した飼育専用スペースで飼育することとなります。ペットへの餌やりや排泄物の清掃などの飼育・管理は、ペットを連れてきた人が全責任を負うなど、各避難所でのルールに従ってください。



💡 日頃の準備が大切

スムーズな同行避難のために日頃から備えましょう。

- 予防接種や各種ワクチン接種、寄生虫の予防・駆除などの健康管理
- ケージやキャリーバッグに入ることを嫌がらない、決められた場所での排泄などのしつけ
- マイクロチップ、首輪に鑑札や狂犬病予防注射済票、連絡先を書いた迷子札など所有者の明示
- 避難所には、ペットのための備蓄はありません。5日分のペットフード・水、療養食、常備薬、トイレ用品、洗濯ネット(猫の保定用)などのペット用品の備蓄



緊急時の情報はメール配信で

防災行政無線で放送した内容や市内で観測された地震情報・気象情報などについて、メール配信により情報提供を行っています。左のQRコードから登録ができます。

問合せ／秘書広報課 内線2014